

早稲田大学 大学院法学研究科
2020年度 修士課程入学試験（国内受験）
【専修科目】

基礎法学専攻	英米法 専修
<p>次の問題 I または II のいずれか 1 つを選択して解答しなさい。</p> <p>I. 懲罰的損害賠償 (punitive damages) とは何かを説明し、当該賠償をめぐる論争および 20 世紀後半以降のイギリスおよびアメリカ合衆国での判例の動向を述べなさい。</p> <p>II. 次の設問の A と B に答えなさい。</p> <p>A. アメリカ合衆国憲法における州際通商条項の解釈の変遷について説明しなさい。</p> <p>B. 次の語句を簡潔に説明しなさい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① right to keep and bear arms ② selective incorporation doctrine ③ Lord Chancellor (of England and Wales) ④ forms of action (at common law) 	
<p>答案の書き方 (<input type="checkbox"/>横書 / <input type="checkbox"/>縦書) 六法全書の使用を (<input type="checkbox"/>認める / <input type="checkbox"/>認めない)</p>	